

教科〔理科〕第〔3〕学年		年間指導計画	
* 具体的到達目標		月	学習内容
(1) 1分野の目標 ① 力が働く運動では物体の速さなどが変わること及び力が働かない運動では物体は等速直線運動をすることを理解する。 ② エネルギーが相互に変換されること及びエネルギーは保存されることを理解する。 ③ 酸化や還元が酸素の関係する反応であることを理解する。 ④ 化学変化にはエネルギーの出入りが伴うことを理解する。 ⑤ 日常生活と関連付けて科学的に考える態度を身に付ける。 ⑥ エネルギーの有効な利用が大切であることを理解する。 ⑦ 環境との調和を図りながら科学技術を発展させていく必要があることを理解する。 (2) 2分野の目標 ① 植物と動物の細胞のつくりの特徴を理解する。 ② 細胞の分裂を生物の成長と関連付けて理解する。 ③ 有性生殖と無性生殖の特徴や生物が殖えるときに親の形質が子に伝わることを理解する。 ④ 天体の日周運動を地球の自転と関連付けて理解する。 ⑤ 四季の星座の移り変わり、季節による昼夜の長さ、太陽高度の変化などを地球の公転や地軸の傾きと関連付けて理解する。 ⑦ 惑星の公転と関連付けて太陽系の構造を理解する。 ⑧ 自然界では、すべての生物がつり合いを保って生活していることを理解する。 ⑨ 自然環境を保全する重要性を認識する。		4	5. 生物の細胞とふえ方 第1章 細胞の世界
		5	第2章 生物の子孫の残し方
		6	5. 運動と力 第1章 物体の運動 第2章 運動と力
		7	6. エネルギー 第1章 いろいろなエネルギー
		9	第2章 化学変化とエネルギー
		10	7. 科学技術と人間 第1章 エネルギー資源の利用
* 評価の観点・方法 ① 関心・意欲・態度…授業態度・提出物・ノート等を総合的に判断して評価します。 ② 科学的思考…定期試験・実験プリント・小テスト等を総合的に判断して評価します。 ③ 技能・表現…定期試験・実験プリント・小テスト等を総合的に判断して評価します。 ④ 知識・理解…定期試験をもとに評価します。			終章 科学技術の進歩と人間生活
* 使用教材 教科書 新しい科学1・2分野下(東京書籍) 補助教材 理科学習ノート(広学図書)3年間の総まとめ(吉野教育)		11	6. 地球と宇宙 夜空をながめてみよう 第1章 地球の運動と天体の動き
* 学習上の注意・助言 (1) 意欲的に授業に取り組もう ① 授業開始のチャイムが鳴る前には着席し、教科書・ノートなどを机に出しておこう。 ② 先生や友だちの発言をしっかりと聞こう。 ③ 黒板の内容は学習ノートにしっかりとまとめて書こう。 ④ 自分の考えをできるだけ発表しよう。 (2) 授業は理科室で行います。 ① 理科室には使用方法を誤ると危険な実験器具や薬品がたくさんあります。気をつけよう。 ② 実験・観察では必ず先生の指示を守り、安全に行おう。 (3) 実験や観察をするときには、その目的を忘れず、学習ノートやプリントなどに結果や気づきをできるだけ詳しく記入しよう。 (4) 学習ノートやプリントなどの提出物の期限を守ろう。		12	第2章 惑星と恒星 第3章 宇宙の広がり
		1	7. 自然と人間 第1章 自然の中の生物
			第2章 自然と環境保全
		2	終章 自然と人間生活
* 家庭学習の仕方 (1) 学習ノートの問題は、授業があったその日に取り組もう。 (2) 重要語句・公式はしっかりと理解しよう。 (3) 計算問題などは、単位に注意し、必ず式を書くようにしよう。 (4) 新聞やテレビ等を利用して、科学に関係することを学習しよう。			